

# 桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 NO. 15 令和4年10月27日 文責 渡邊

## 学校、家庭、地域社会、そして行政が連携し 子供たちの安全を守る！

桑村小学校から見える富士山が10月25日(火)からたくさんの雪をかぶり冬の訪れを感じさせるようになってきました。

この日、お昼に地域の方から電話をいただきました。

「パサディナ地区から通っている子供が利用する通学路に大きな木が立っているが、強い風が吹いたとき倒れる危険があるので電話した。それは自動車を通る道と歩行者が利用する道の歩行者側の道で、木が道路を覆っている。中には枯れているものもある。もう一つは、学校に近い大きく曲がるところにある大木。これも枯れているので危険である。」というものでした。

校長は、すぐにカメラを持って現場に向かいました。その時、ちょうど学校へと電話をくださった方がトラックで通り過ぎようとしているところに出会わせ、詳しく話を伺うことができました。

現場を確認し、教育委員会へと通学路の危険箇所についての報告の電話を入れました。また、子供たちには、緊急の校内一斉放送で安全な道路を使って登下校するように指導するとともに、保護者には一斉メールを配信し、安全な登下校についての理解と協力に努めました。

その後、学校教育課職員と町役場建設課職員が本校を訪れ、校長とともに現場の確認を行い、対策について話し合いました。



【通学路から見える富士山】



【現場の確認の様子①】



【現場の確認の様子②】



【現場の確認の様子③】

現場確認をしているときに、本校の保護者が乗用車で通りかかりました。保護者は車を止め、「ありがとうございます。」と声をかけてくださいました。きっとメールを見て、声をかけてくださったのでしょう。とても嬉しかったです。今後、子供の安全を守るために伐採等の対応を行います。それまでは安全に通学していくことになります。



【登校指導の様子】

10月26日(水)の朝、危険箇所において登校指導を行い、子供たちに安全な歩行の仕方について指導しました。

今回、地域の方からの連絡で通学路の危険箇所を教えてくださいました。また、その後の対応では、町役場の担当の方々がすぐに行動してくださいました。子供の安全を守ることはとても大切なことです。今後も、学校、家庭、地域社会、そして行政が連携し、子供たちの安全に努めていきます。みなさんの応援に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。